

# 校長あいさつ

阿波連小学校区は、渡嘉敷村の渡嘉敷港からおよそ5kmの南南西に位置し、北に絶景の眺望を有する照岳（てりだけ170m）、南に前岳（まえだけ156m）の緑豊かな山々と、離島（はなりじま）を目前にした、砂岳地帯にひらけた人口約220人の小さな集落です。東西に800mの真っ白い砂浜を有する阿波連ビーチは、夏場は格好の海水浴場になり、多くの観光客や海水浴客で賑わっています。そこが阿波連小学校の水泳学習の場、つまりプールの役割を果たしています。

また、阿波連集落の西側にはクバ（ビロード）の密生している自然植物園とキャンプ場、島の周囲には全国的にも有名なダイビングスポットが数多く存在し、豊かな自然に恵まれています。

歴史的にも、琉球王府時代に進貢船が停泊し、風待ちをした所として知られており、現在は漁港も整備され、沿岸漁業は勿論のこと、ダイビングをはじめとするマリンスポーツの拠点となっています。集落としては80世帯余り、およそ20軒が民宿を営み、ダイビング客や海水浴客を相手に生計を立てている家庭が多くを占めています。

そのような風光明媚で温かい住民に愛される中、阿波連小学校は、明治38年渡嘉敷小学校阿波連分校としてスタートしました。昭和16年渡嘉敷国民学校阿波連分校、昭和27年渡嘉敷小学校阿波連分校を経て、昭和32年阿波連小学校として独立し、現在111年目に至ります。

次に学校経営について紹介します。教育目標・スローガンを下記のように掲げ、取り組んでいきます。

## 教育目標

### 自ら学ぶ 心豊かな たくましい子

- 目標を持ち進んで学習する子
- 健康でねばり強くやりぬく子
- だれとでも仲良く協力する子
- 夢を持ち感性豊かな子

## スローガン

### オンリーワン きらきら学ぶ あはりっ子

実践事項としては、下記の4つに力を入れていきたいと考えています。

- ① 「対話」と「協同」のある聴き合い・学び合う授業、ガイド学習の充実等による授業改善、渡嘉敷小学校との集合学習の積極的な推進
- ② 児童同士や児童と教師の対話で、相手の話をしっかり聴く・受け入れる態度の育成等の聴き合い・学び合う学校作り、教師同士で研鑽する職場
- ③ 児童集会やチャレンジタイムの充実、ミニミニ研究会や職員研修の実施
- ④ 地域素材・地域人材を活用した授業、保護者や地域と連携した学校行事・体験活動の推進、地域への誇りと愛着を育み（愛郷）、児童の希望と夢に繋ぐ。

## <目指す学校像>

児童が学び合う場所としての学校、教師が専門家として学び成長し合う場所としての学校、保護者や地域の方が学校の教育活動に参加して互いに学び合う場所としての学校づくりを目指します。

渡嘉敷村立阿波連小学校  
校長 金城 光吉